

青少年奉仕委員会方針と目標

青少年奉仕委員会

委員長 大木和彦

(須賀川RC)

2022-23年度の国際ロータリーの年次目標と地区運営方針・地区活動目標をもとに、事業を進めてまいります。

「参加者の積極的なかわりを促す」目標

1. 個人的成長、リーダーシップ開発、奉仕、ネットワークづくりの機会を通じ、ロータリーの中核的価値観を支える会員の参加促進ツールを向上させる。
2. 特にロータリー、ローターアクト、インターアクトクラブのすべての参加者の連携を強める。

「適応力を高める」目標

1. バーチャルでのつながりの活用を支援・推奨し、対面式の会合、研修、ファンデレイジング、奉仕プロジェクトを最適化する。
2. ロータリーファミリーのすべてのリーダーシップレベルで多様性、公平さ、インクルージョンが実現できるよう取り組みを強化する。
3. ロータリーの奉仕提供およびボランティアリーダーシップの構成を見直し、効果を高め、責務および説明責任の所在をより明確にする。

第 2530 地区 2022-23 年度地区重点目標

4. ネットワークの構築

ロータリーファミリーはもとより、私たちの思いに賛同し活動する人々と交流しましょう。

2022-23 年度分野別目標

インターアクト

- ・インターアクトクラブ輻一動の支援及び指導
- ・ロータリークラブ、ローターアクトクラブとの連携
- ・ロータリー賞挑戦のサポート

RYLA

- ・地区 R Y L A の再検討と実施
- ・第 16 回全国 R Y L A 硯究公に向けての準備

青少年交換

- ・長期交換事業の実施及び短期交換事業の検討

青少年奉仕委員会

- ・2022-23 年延 8 月 27 日地区青少年奉仕セミナー

(

(1) インターアクト (Interact)

2022-23 年度

8 月／インターアクトクラブ年次大会

10 月／第 2 回連絡協議会 (リモート)

地区インターアクト委員会

11 月／ロータリークラブ年次大会

11 月／国際理解研修会

5 月／第 1 回連絡協議会

6 月／リーダー研修会

新型コロナ感染症のために、名のインターアクトの活動に制限がかかります。地区内インターアクトは、学校型のクラブなので、3 年間しかありません。充実した活動を支援していきます。

スポンサークラブには、合同例会の開催、インターアクトクラブでもロータリー賞があるので挑戦していただきたいと思います。

(2) RYLA (Rotary Youth Leadership Awards ロータリー青少年指導者養成プログラム) 地区が行う 14 歳～30 歳 (2530 地区は 18 歳～35 歳程度) 中高生、大学生、社会人を対象とする地域社会のリーダーシップを養成する為のプログラムです。

2022-23 年度

2023 年 2 月 R Y L A 研修会

各クラブ 1 名以上の参加申し込みよろしくお願いします。

(3) 青少年交換【Youth Exchange】

新型コロナウイルスの世界的流行が続いていることを受け、2022 年 7 月 1 日までは地区が長期・短期のロータリー青少年交換を実施してはならないこと、および、その後は参加地区が以下の条件を満たした場合のみ再開できることに同意しました。

1. ロータリー青少年交換プログラムの参加認定要件を了承したことを確認する。
2. これらの要件に従ってプログラムを運営することに同意する。
3. いかなる交換も、実施する前に、理事会によって定められた追加の安全策に従う。

RIJYEM の策定する予定の「危機管理計画」についての研修を進めていきたいと想います。

2022-23 年度

7 月／第 1 回青少年交換委員長会議

10月／派遣学生選考会

12月／第2回青少年交換委員長会議

1月／ウィンターキャンプ

3月／東北多地区合同スプリングキャンプ

4月／日本青少年交換研究会

6月／派述学生＋ROTEXオリエンテーション

2022年11月～2023年7月

派遣学生オリエンテーション

2022年7月～9月 派遣学生募集

地区大会においては、第3回目となる『青少年会議』を計画しております。